



安全データシート
ZIP PATCH ACTIVATOR

項目1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品名 ZIP PATCH ACTIVATOR

製品番号 X0057

1.2. 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 活性化剤。

1.3. 安全データシートの供給者の詳細

供給者

ITW Performance Polymers
Bay 150
Shannon Industrial Estate
Co. Clare
Ireland
V14 DF82
353(61)771500
353(61)471285
mail@itwpp.com

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44(0)1235 239 670 (24h)

項目2：危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 引火性液体 区分2 - H225

健康有害性 皮膚刺激性 区分2 - H315 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319 皮膚感作性 区分1 - H317 生殖細胞変異原性 区分2 - H341 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H335

環境有害性 区分外

2.2. ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

ZIP PATCH ACTIVATOR

危険有害性情報	H225 引火性の高い液体及び蒸気。 H315 皮膚刺激。 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H319 強い眼刺激。 H335 呼吸器への刺激のおそれ。 H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。
注意書き	P210 熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 P261 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。 P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。 P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。 P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
含有物	METHYL METHACRYLATE

2.3. 他の危険有害性

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

項目3：組成及び成分情報

3.2. 混合物

メチル = メタクリラート	60-100%
CAS番号: 80-62-6	
分類	
引火性液体 区分2 - H225	
皮膚刺激性 区分2 - H315	
皮膚感作性 区分1 - H317	
特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H335	
3,5-diethyl-1,2-dihydro-1-phenyl-2-propylpyridine	10-30%
CAS番号: 34562-31-7	
分類	
急性毒性 区分4 - H302	
急性毒性 区分4 - H312	
皮膚刺激性 区分2 - H315	
眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

項目4：応急措置

4.1. 応急措置の説明

一般情報	皮膚および眼との接触を避ける。事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察をうける (できればラベルを見せる) 。
吸入	直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が困難な場合には適切な訓練を受けた人員が酸素投与を行って被災者を補助してもよい。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。

ZIP PATCH ACTIVATOR

経口摂取	無理に吐かせてはならない。直ちに医療処置を受ける。多量の水を飲ませること。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。無理に吐かせないこと。嘔吐した場合には、嘔吐物が肺に侵入しないよう頭を低くしておかなければならない。
皮膚接触	直ちに汚染された衣類を取り除き皮膚を石鹸と水で洗うこと。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。
眼接触	コンタクトレンズがあれば取り外し瞼を大きく広げること。少なくとも15分間洗い続けた後に医師の手当てを受けること。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。

4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報 記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

4.3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 特定の推奨事項はない。懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。

項目5：火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤 泡消火剤、二酸化炭素または粉末消火剤で消火すること。

5.2. 化学品から生じる特定の危険有害性

特有の危険有害性 火災ガスまたは蒸気の吸入を避けること。引火性が高い。蒸気は空気より重いので、床に沿って移動し容器の底に蓄積するおそれがある。蒸気は火花、高温面または燃えさしによって着火するおそれがある。蒸気は空気より重いので地表近くで広がり着火源まで相当な距離を移動して逆火するおそれがある。

5.3. 消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置 風上に向かいヒュームを避ける。火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。炎にさらされた容器は消火後も十分な時間冷却し続けること。封じ込めにより流去水を管理して下水道および水路に流入させないようにすること。

消火を行う者を保護するための特別な保護具 陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。

項目6：漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 潜在的危険有害性について全員に警告し、必要に応じ避難させる。この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。蒸気を呼吸してはならない。適切に換気すること。流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。静電気放電の予防対策を講じる。

6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 あらゆる環境汚染の発生を防止または最小限に抑えること。排水管または水路あるいは地表へ放出しないこと。水路への流出または制御不能の放出は直ちに環境省またはその他の管轄規制組織に報告しなければならない。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。回収した流出物を入れた容器には必ず正確な内容物と危険有害性シンボルを標示しなければならない。

6.4. 他の項目の参照

他の項目の参照 この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。

項目7：取扱い及び保管上の注意

ZIP PATCH ACTIVATOR

7.1. 安全な取扱のための予防措置

使用上の予防措置

適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。製品または成分の職業暴露限界値がある場合にはこれを遵守すること。蒸気の吸入を避けること。流出を避けること。皮膚および眼との接触を避ける。すべての点火源を排除すること。静電気および火花の発生を防止しなければならない。貯蔵タンクおよびその他の容器を必ずアースしなければならない。製品使用中は、飲食及び喫煙してはならない。優良個人衛生手順を実行しなければならない。

7.2. 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置

密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。熱、火花および裸火から遠ざけること。混触危険物質（セクション10を参照）から遠ざけて保管すること。

7.3. 特定最終用途

特定最終用途

この製品の意図された使用はセクション1で詳しく述べられている。

項目8：ばく露防止及び保護措置

成分に関する注釈

WEL = Workplace Exposure Limits

8.2. ばく露防止

保護具



適切な設備対策

適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。製品または成分の職業暴露限界値がある場合にはこれを遵守すること。

眼 / 顔面の保護

リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。次の保護具を着用しなければならない：化学物質飛沫ゴーグル。眼および顔面を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。

手の保護

次の材料で作られた保護手袋を着用すること：ゴムまたはプラスチック。手を化学物質から保護するために、化学物質に対する不浸透性および分解耐性が証明されている手袋を着用しなければならない。選択される手袋は少なくとも8時間の破過時間を有していなければならない。

その他の皮膚及び身体の保護

化学品防護服を着用すること。

衛生措置

洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。優良個人衛生手順を実行しなければならない。仕事場を離れる前に手と他の汚染された身体の部位を石鹸と水で洗うこと。製品使用中は、飲食及び喫煙してはならない。毎日作業場を出る前に作業服を交換すること。

呼吸器の保護

換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。次のカートリッジを装着した呼吸マスクを着用すること：ガスフィルタ、タイプA2。呼吸マスクの選択は必ず暴露レベル、製品の危険有害性および選択した呼吸マスクの安全作業限界に基づいて行わなければならない。呼吸マスクが顔面に密着することおよびフィルタが定期的に変換されていることを点検すること。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したハーフマスク式およびクォータマスク式の呼吸用保護具を使用しなければならない。

項目9：物理的及び化学的性質

9.1. 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

液体。

色

琥珀色。

ZIP PATCH ACTIVATOR

臭い	溶剤臭。
pH	pH (希釈液) : 7-8.5%
初留点及び沸騰範囲	79.4 (MEK)°C @
引火点	-4.4 (MEK)°C
蒸発速度	5.7 (butyl acetate =1)
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	燃焼/爆発下限界: 1.4 燃焼/爆発上限界: 11.4
蒸気圧	71 @ °C
蒸気密度	2.5
相対密度	0.85 @ 20 °C
揮発性	77

項目10: 安定性及び反応性

反応性	強酸化剤。強還元剤。酸。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
危険有害性反応危険性	重合しない。
避けるべき条件	熱、火花およびその他の着火源を避けること。長時間にわたる過剰な熱を避けること。
混触危険物質	強酸化剤。強還元剤。銅。強酸。
危険有害な分解生成物	炭素酸化物。熱劣化または燃焼により、酸化炭素及び他の毒性ガスまたは蒸気を放出することがある。熱劣化または燃焼により、酸化炭素及び他の毒性ガスまたは蒸気を放出することがある。炭素酸化物。窒素酸化物。塩化水素 (HCl)。シアン化物。

項目11: 有害性情報

11.1. 有害性情報

急性毒性 - 経口

急性経口毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 333,333.0

急性毒性 - 経皮

急性経皮毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 733,333.0

吸入	蒸気は嗜眠及びめまいを起こすことがある。
経口摂取	吐き気、頭痛、めまいおよび中毒を引き起こすおそれがある。中枢神経系の抑制。
皮膚接触	皮膚を刺激する。製品は皮膚に脱脂影響を及ぼす。
眼接触	眼を刺激する。眼に重度の障害を与えるリスクがある。

項目12: 環境影響情報

生態毒性	環境への放出を避ける。
------	-------------

ZIP PATCH ACTIVATOR

毒性	魚に対する毒性は考えられない。
12.2. 残留性・分解性	
残留性・分解性	この製品の分解性についてのデータは無い。
12.3. 生体蓄積性	
生体蓄積性	生体蓄積性について利用可能なデータ無し。
12.4. 土壌中の移動性	
移動性	排水管または水路あるいは地表へ放出しないこと。
12.6. 他の有害影響	
他の有害影響	データ無し。

項目13：廃棄上の注意

13.1. 廃棄上の注意

一般情報	廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。
廃棄方法	現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。
廃棄物クラス	08 04 99

項目14：輸送上の注意

一般事項	その他の情報は知られていない。
14.1. 国連番号	
国連番号 (道路輸送/鉄道輸送)	1193
国連番号 (IMDG)	1193
国連番号 (ICAO)	1193
14.2. 品名 (国連輸送名)	
品名 (国連輸送名) (道路輸送/鉄道輸送)	ETHYL METHYL KETONE (METHYL ETHYL KETONE)
品名 (国連輸送名) (IMDG)	ETHYL METHYL KETONE (METHYL ETHYL KETONE)
品名 (国連輸送名) (ICAO)	ETHYL METHYL KETONE (METHYL ETHYL KETONE)
14.3. 国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	
道路輸送/鉄道輸送クラス	3
道路輸送/鉄道輸送ラベル	3
IMDGクラス	3
ICAOクラス / 区分	3
輸送ラベル	



ZIP PATCH ACTIVATOR

14.4. 容器等級

道路輸送/鉄道輸送容器等級	II
IMDG容器等級	II
ICAO容器等級	II

14.5. 海洋汚染物質

環境有害物質 / 海洋汚染物質
該当せず。

14.6. 使用者のための特別予防措置

非常措置指針 (EmS)	F-E, S-D
危険物識別番号 (道路輸送/鉄道輸送)	33

MARPOL73/78 附属書II及び IBCコードによるばら積み輸送
情報は要求されていない。

項目 15 : 適用法令

項目 16 : その他の情報

改訂日付	2018/04/04
改訂版	12
破棄日付	2016/04/28
危険有害性情報の全文	H225 引火性の高い液体及び蒸気。 H302 飲み込むと有害。 H312 皮膚に接触すると有害。 H315 皮膚刺激。 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H319 強い眼刺激。 H335 呼吸器への刺激のおそれ。 H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。